

# 平成 28 年度山野学苑事業報告

はじめに

学校法人山野学苑は、初代校長山野愛子・山野治一総長によって昭和 9 年に創立され、わが国の美容界の発展を念願しつつ、「髪・顔・装い・精神美・健康美」の五大原則を「美道」として教育に専念して今年で 82 周年を迎えました。

山野愛子初代校長が確立した「美道」は、山野正義総長が「美容福祉」、「ジェロントロジー」、「美齢学」へと発展させ、美容界で初めて教育の実践・普及活動を通じて地方創生・地域の活性化にも貢献しています。

山野愛子ジェーン理事長は、更なる歴史の継承と国際的視点から学苑の改革・改善を目指し、新たな学苑のリーダーとして世界で活躍しています。

以下、各学校の主な事業活動についてご報告します。

《短期大学》

《全般》

短期大学は、美容総合学科として、美容デザイン専攻、エステティック専攻、国際美容コミュニケーション専攻の 3 専攻、学士取得可能な専攻科芸術専攻、そして留学生を対象とした日本語教育を実施する日本語別科を運営しています。

平成 28 年度は、7 年に 1 度実施される第三者評価を受け、短期大学基準協会より「適格」の評価を受けました。

また、教育体系をより明確に充実させるため、教育目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの見直しを行いました。

## 1 学科及び各専攻等の内容

### (1) 美容総合学科

美容総合学科は、美道五大原則（髪・顔・装い・精神美・健康美）に基づく美容教育と教養教育により、『美しく生きる力』を形成することを目的とする。『美しく生きる力』とは、課題を発見し、解決する能力を自ら考え、行動し、振り返ることのできる力を備え、あらゆる他者にホスピタリティ及びコミュニケーション力を発揮できるとともに、自身のみならず他者も含めた豊かな人生を追求できる資質・能力を有することである。

この教育目標を受け、各専攻は以下の通り教育事業を展開しています。

#### ① 美容デザイン専攻

美容師の国家資格取得を目指す専攻です。幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、他者のニーズを踏まえて「美」を表現

するデザイン力、加えて国際性を兼ね備えた、美容産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材の育成を目指します。

また、山野学苑が培ってきた美容福祉の継承を担う旧ホームヘルパー2級に相当する「介護職員初任者研修」も継続して実施しました。

この他、次年度に向け新たな入学希望者獲得のため、海外での活躍を目指す学生に向けた、新たなプログラム構築にも取り組みました。

## ② エステティック専攻

エステティックを中心に学びますが、幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、人のからだの「美」について、医学、生理学、栄養学、心理学など総合的な視点でとらえることができる力、加えて国際性を兼ね備えた、エステティック産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材の育成を目指します。

またエステティック業界の国内における2大団体の資格取得と、コンテストへの参加も継続しています。

さらに平成28年度に申請していた国際的資格として知られているシデスコの仮認定校を取得し、平成29年度に希望者を募って資格取得を目指します。

この他、次年度に向け新たな入学希望者獲得のため、体の内側から、キレイになるために必要な食や栄養、健康に関する知識と技術を学ぶ、新たなプログラム構築にも取り組んでおります。

## ③ 国際美容コミュニケーション専攻

グローバルな人材育成が叫ばれる中、必須とも言える英語コミュニケーション力を身につけます。幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、語学力や自国文化を含めた異文化理解などの国際性を兼ね備えた、サービス産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材の育成を目指します。

また英語でのコミュニケーションを活発化させるため、留学生も積極的に受け入れています。

この他、2020年の東京オリンピックなどを契機に、国のインバウンド政策なども加速しており、国際コミュニケーション分野の人気も高まっています。これらの状況を踏まえ、平成30年度から、国際美容コミュニケーション専攻の入学定員を30人から15人増員して45人とする定員増申請を28年度末に文部科学省へ申請しました。

## (2) 専攻科芸術専攻

専攻科は、美容技術のスキルアップと、芸術としての美容の研究を目指します。

授業では、絵画、彫刻、デザイン、写真などを通して表現力を高めながら、将来の仕事に生かせる実践的な美容技術や、美容に関わる深い知識を身につけることができます。修了と同時に大学卒業と同等の学位「学士(芸術学)」取得を目指します。

芸術系の授業内容やシャンプー製作など特徴的な専攻科を学内のみならず、学外へも積極的にアピールすることが益々求められています。美容技術のさらなる研鑽に留まらない特徴を広報しました。

また、新たな入学希望者獲得のため、海外での活躍を目指す学生に向け、海外長期インターンシップ等を含めた、新たなプログラムの構築にも取り組みました。

### (3) 日本語別科

日本語別科が八王子に移転し、学生募集も地域性が定着してきました。本科生と同じキャンパスで学ぶことで、29年度に12名の学生が短大本科への進学実績がありました。

## 2 卒業後の進路

### (1) 美容デザイン専攻

区 分	人 員	占有率 (%)
美容室	98	70.5
エステ	1	0.7
ネイル	2	1.4
化粧品	8	5.8
ブライダル	5	3.6
進学	4	2.9
留学	2	1.4
帰国	7	5.0
その他	12	8.6
計	139	

### (2) エステティック専攻

区 分	人 員	占有率 (%)
エステ	21	87.5
進学	1	4.2
帰国	1	4.2
その他	1	4.2
計	24	

### (3) 国際美容コミュニケーション専攻

区 分	人 員	占有率 (%)
美容室	2	8.0
エステ	4	16.0
ネイル	1	4.0

化粧品	6	24.0
アパレル	1	4.0
進学	5	20.0
留学	2	8.0
その他	4	16.0
計	25	

#### (4) その他

留学生の美容業界への就職は本科生3名、専攻科生1名の計4名となりました。

### 3 キャリアサポート

#### (1) ゼミナール

キャリア支援や人間教育に柱を置いた「ゼミナール」では、ホスピタリティ能力、コミュニケーション力等の社会人基礎力の育成を柱とし、少人数制の人間教育、キャリア教育をさらに充実させるべく取り組んできました。

#### (2) インターンシップ

ヘアサロン、エステサロン、ネイルサロン、ブライダル企業、一般企業、さらに進学、留学など進路の多様化の開拓を進めてまいりました。1年次の夏と2年への進級直前の3月、2週間から1ヶ月ほどのインターンシップで現場力を体感すると同時に社会人としての意識付けをねらいます。

昨年度、62社118人、28年度は57社133人でした。

実施内容として、国内では、スパレセプション、化粧品会社、ネイルサロン、美容室、エステサロン、結婚式場、写真スタジオ、メイクスタジオ、衣装会社、航空会社（ラウンジ）、アパレル販売、海外では、ブライダル、美容室で実施しました。

#### (3) キャリア支援センター

キャリア支援センターは、ゼミ担当教諭と密接な連携を図りながら、就職先の開拓、インターンシップ先の開拓も進めて提携先を増やし、学生にとって有効な情報の提供に努めると同時に就職の心構えなどの特別講座の実施（講演）、企業説明会の実施（サロン、ブライダル、写真スタジオ、一般企業）、個別相談、面接指導、書類指導を行いました。

また、Uターン・Iターン就職協定を結んでいる長野県、栃木県と連携し、就職情報の提供を行いました。

### 4 課外活動

美容という特徴を活かし必修科目として包括協定を締結している八王子市提供のボランティアへ学生が参加しています。

教員としては、いちよう塾開講として公開講座8講座、提供講座7講座、合計15講座を実施、186人が参加しました。

そのほか地域密着として八王子まつり、民生委員会、柚木フラワーフェスティバル、学生天国、などへの参加。またグローバルな取り組みとしては、アメリカンスクールインジャパン、Tokyo International Players、西町インターナショナルスクールなどでのヘアメイク、着付け、お茶体験など、毎年実施しています。

海外からの短期美容技術研修なども積極的に受け入れています。

## 5 学生募集

29年度入学者獲得のため、オープンキャンパスの開催、学校見学会、高校訪問、校内・会場進学ガイダンス及びWebリスティング広告等を積極的に実施しました。29年度の入学者は次のとおりです。

### (1) 本科

専攻	入学者	定員	充足率
美容デザイン	118	160	73.6
エステティック	17	40	42.5
国際美容コミュニケーション	116	30	386.7
計	251	230	109.1

### (2) 専攻科芸術専攻

入学者	定員	充足率
3	40	7.5

### (3) 日本語別科

#### ア 入学者

入学者	定員	充足率(%)
71	120	59.2

#### イ 国別

国名	入学者		計
	10月生	4月生	
中国	14	9	23
ネパール	11	18	29
ベトナム	6	10	16
韓国		1	1
台湾	1		1
スウェーデン	1		1
計	33	38	71

長期履修の留学生受け入れは29年度で3年目を迎えます。

## 6 美齡学の構築

一生を美しく生きることに関し、美を通して様々なアプローチで研究する学問の構築を総長のリーダーシップのもと学苑本部とともに検討を始めました。28年度に研究センターを開設しました。

## 7 産学官の連携について

- (1) 一昨年度、地元の八王子市と包括協定を、長野県・栃木県とU・Iターン就職協定を締結しました。28年度はそれを発展させるべく、市とは生涯学習、ボランティアを進め、長野・栃木両県とは、地元企業との情報交換、就職情報の提供を受け、学生に情報提供を行いました。さらに地元の美容業界ともこれまでの関係をより強めるために東京都美容組合八王子支部の各種会合に参加して交流を深めました。
- (2) 山野医療専門学校が取り組んでいる「転倒防止の靴下」の現地検証を医療専門学校と福祉施設等と共同で取り組みました。

## 8 外部資金の獲得

国の助成事業を見据え、前述しているこれらの活動を結び付けることで、平成28年度は、改革総合支援事業に採択され補助金を獲得することができました。

### 《美容専門学校》

山野美容専門学校は、昭和9年に山野美容講習所として創設されました。以来82年間にわたり初代山野愛子先生が提唱した美道を基本理念として、美容界のため豊かな発想と美的感覚を備えた美容師の養成に努めてきました。近年、美に対する個人の意識が多様化し、また、社会の変革に伴って美容師に対する要望も高度化してきました。特に、これからの高齢社会においては、美容福祉の重要性を自覚し、福祉についても基本的な知識・技術を学び、人のため癒しの気持ちを施すことができる思いやりと愛の心を備えた美容師を養成することが望まれます。このため、アメリカの南カリフォルニア大学と提携して、日本では東京大学と本校だけでしか学べない学際的学問であるジェロントロジー教育をスカイキャンパスで学んでいます。

このような基本的な考え方を具現化した主要な取り組みは次のとおりです。

### (1) ミッションステートメントの確立

教育目標 Mission statement

～山野美容専門学校は「髪」「顔」「装い」「精神美」「健康美」の『美道五大原則』を基に、美容の理論と実践をとおして教育の向上を目指し、常に変わりゆく多様な文化のなか学生を美容界のリーダーに育てるとともに、生涯の学びへと導

くことを目標とする。～

山野美容専門学校に美道五大原則を基礎とするミッションステートメントが位置づけられました。平成 28 年度は、これを教職員の業務の指針とし、一人一人が常に振り返り自らの向上に役立てる体制の確立に努めました。

## (2) 教員の教育力の向上

### ① 平成 28 年度 4 月～ 教員評価制度の制定による他校との差別化 他

- ・基本理念である「美道」を実践できる教員の育成を促進するため、理事長・総括指示のもと教員評価制度を制定し、教員能力の可視化に成功しました。評価基準については「美道五大原則」を基本に教員全員の意見を集約し、公平性と透明性を計っています。
- ・また、28 年度は教員による研修委員会を設置し、教員のマナーや技術力、指導力など、向上すべきスキルごとに研修会を開催し、年間を通じて教員のスキルアップに努めました。

### ② 平成 28 年 11 月 東京地区理容師美容師養成施設教職員研修会（箱根・4 名）

## (3) ICT 教育

iPAD を導入し、以下のように ICT 教育を推進しました。

- \* 国家試験過去問題を iPAD にアップし、学生がいつでもどこでも反復学習
- \* すべての課題を iPAD に提出
- \* 教材としてスライドショーを作成し、就職活動に活用

## (4) 委員会制度の充実

27 年度に引き続き、委員会制度による教職員の職務の効率化・共有化を図り、研修委員会を新設しました。

## (5) カリキュラム

2 年間という短い時間の中で学生のビジョンを形にしていくためのカリキュラムとして、基礎的な技術を学ぶ基礎プロコース、プロの現場にも役立つ技術や意識、対応力を身につけていくテクニカルプロコース、そして国家試験の全員合格を目標としました。

### ① カリキュラム You（専門課程）

選択カリキュラムを引き続き採用しており、学生アンケート結果をベースに常に改善を続けています。

### ② カリキュラム LIVE（高等課程）

高等課独自の現役サロン美容師による LIVE 授業を継続して実施しています。

### ③ 通信課程

受講生は主にサロン勤務者を含む社会人であるため、面接授業の時間帯を昼または夜間で選択できるシステムを引き続き採用しています。特に通信・夜間では

時間帯の便利さから人気のあるコースとなっています。通信の卒業生に対して、手厚い国家試験対策を行い、合格率を上げています。

また提携校（VAW 栄光ハイスクール等）からの面接授業受講生は現役の高校生であり、27年度までは社会人受講生とは要求のレベルや方向性に差異がある点が課題でした。

28年度では、高校生受講生両者が満足できるクラス編成や指導体制を取り入れました。

## (6) 学生サービスの向上

### ① 環境の整備

学生生活の中で気付いた不満や埋不尽な出来事、また、こうしたらもっと良くなるといったアイデアなどを聞くため、ご意見箱を設置し、投書を受理したら速やかに真摯に回答する体制を整えその対応に当たりました。

### ② キャリア支援

就職指導については、伝統と21万人の卒業生を世界の美容界へ送り込んだ実績によって、前年度を上回る1,200社12,000人の求人数がありました。また、カリキュラムに沿った新たな企業等の開拓にも引き続き取り組んでいます。

### ③ 人権の尊重

セクハラ・パワハラについては、学生・教員・職員が個人として尊重され、お互いの信頼のもとに教学に専念できる環境を作り、これを維持していくことを重要と考えております。「セクハラ防止等に関する規定」に則り、いかなるセクハラ・パワハラも黙認されたり、見過ごされたりすることがないように、当校の設置するスクールカウンセリング・健康相談室・法律相談室の職員と連携し、これに取り組みました。

### ④ 社会人基礎力

コミュニケーション力やチームワーク力、自発的に取り組む力、おもてなしの精神など、接客を生業とする社会人として必要な力や感性を伸ばすための取組を行っております。ほぼ毎週開催されるハッピーランチ、恩師や保護者を招待してのサンクスデイなどの取組のほか、多くのボランティア活動に学生が参加しています。28年度は（株）ソニー・ピクチャーズエンタテインメントの映画ジャパンプレミアムでアンデットメイクに400人以上の学生が自発的に参加しました。

ヤングアメリカンズのワークショップにも例年以上に多くの学生が参加しており、本年度はさらにホストファミリーのボランティアにも着手しました。

## (7) 卒業生(校友会・美道クラブ)とのネットワークの構築

昭和9年に創設され、82年間に及ぶ教育で21万人の卒業生が世界の美容界で活躍しています。卒業生への各種サービスの一環として、学校のホームページにイベント等の情報の提供や就職先としての協力依頼等、また、卒業生相互の絆を更に強力なものにするためのネットワークの拡充に努力しました。



## (8) 経営基盤の強化

少子化・価値観の多様化等による入学者の激減により、概算において難しい状況に直面しましたが、迅速な対応で基盤的経費を確保すると共に震災特別学費支援制度を継続して、被災された方で学力優秀・品行方正の希望と素養のある生徒に対して、学費の免除を行う等学業に専念できる環境を整えました。

### 《医療専門学校》

#### 1 入学定員の確保

昨年（平成 27 年度）国家試験合格率が全国平均を超えたのを契機に、パンフレットの刷新、指定校制度の新設、ホームページの刷新、高校訪問、接骨院訪問などで入学者の増員に努めたが成果に結びつかなかった（今年度の入学者は 9 名）。

年間 24 回のオープンキャンパスおよび 7 回の追加臨時ミニオープンキャンパスを実施したが参加者は少なかった（受験予定参加者 23 名、他高校 2 年生 2 名）。

#### 2 教職員体制の縮小と来年度の学生募集停止

平成 28 年度末で教頭の定年退職と学科長および教員 1 名の計 3 名の教員が依願退職したが平成 29 年度からは学生数の減少（1 年 9 名、2 年 14 名、3 年 14 名）とクラス数の減少（全学年午前のみ 1 クラス編成）となるため、教員の補充は行わない。

大幅な入学定員不足が継続しており、今後も改善が見込めないこと、および、厚労省による平成 29 年度からの大幅なカリキュラム時間数増加の改訂により午前コースの継続が困難となることから判断して、平成 29 年度から新規学生募集を停止することにした。

#### 3 国家試験

平成 28 年度は 68.2%と全国平均 82.9%を大きく下回る結果となった。来年度からの学生募集停止を予測して、卒業基準を引き下げたが、読みが甘かったと猛省している。来年度は前年度の 84.4%と国試合格率が高かった時と同様に、卒業基準を厳格にして国試合格率の向上を期す。

例年、本学の既卒者の合格率は約 5%と低いが、平成 28 年度は 25.0%と高かった（全国平均は 22.5%）。この理由は、国試対策を行っていない既卒者に対して、国試受験を促すことを中止したためと考えられる。

在校生に対しては卒業基準を厳格に実施することを周知し、留年しないようにスカイキャンパスの活用を推進して、教育効果の向上と国試対策の早期開始を指導する。

#### 4 キャリア支援の確立と強化

同窓会との連携をとりながら、卒業生と在校生のネットワーク作りと活動の活性

化に取り組んだ。同窓会からは就職説明会開催、国試問題集寄付、謝恩会支援など多くの支援を受けた。

## 5 カリキュラム、時間割の改定

1, 2 学年の間で国試に必要な科目が終了するように平成 28 年度の 1 年生から新カリキュラムを導入した。高校からの新卒者入学の増加に伴い、4 年制大学への 3 年生編入をスムーズにするため、英会話、医学英語、法学の各 1 単位を新設した。

## 6 「美容柔整」概念の具体化

平成 25 年度から美容柔整の科目を体系化して新カリキュラムをスタートした。ジェロントロジー、介護福祉、お茶、お花、着付け、アロマセラピー、ハンドマッサージ、ヨガ、美しい姿勢づくりなどを美容柔整として修得させた。ジェロントロジー資格認定証書は新卒者全員に付与された。

## 7 各種資格取得のための講座充実

「ジェロントロジー」、「柔道整復介護師」、「柔道整復福祉師」、「アロマセラピー検定」、「インソール取扱い認定」の他、さらに「ダイエットコンシェルジュ」、「クレンリネスマネージャー」などの資格取得講座の拡充を図った。

## 8 学校満足度向上

生徒、職員、卒業生とのきめ細かな交流を通して校風改善等に努めた。同窓会組織との連携も密にとりながら、卒業生との交流の機会も積極的に行った。結果として生徒の本学への満足度は飛躍的に向上し、学校への不満投稿は皆無になった。

各界で活躍中の柔道整復師などによる特別講義を年 6 回実施したが学生には好評であった。

更に、医療人を目指すにふさわしい身なり、言動がとれるように朝の挨拶運動を行い、学校での生活指導を徹底し、社会人としての自覚を積極的に促した。

学校満足度向上は、3 年後の閉校をスムーズにするために必須と考え、重点的に取り組んでいる。

## 《山野日本語学校》

### 1 事業の概要

- (1) 山野日本語学校はわが国の大学、専門学校へ進学するための日本語教育及び基礎教育を行う、大学進学準備教育 1 年コース及び大学進学準備教育 1 年半コースとわが国の大学、専門学校への進学するための日本語教育を行う日本語一般 1 年コースを設置している。

日本語能力試験 (N2 以上) の状況 (延べ人数、下段は昨年)

受験者数	183 人
------	-------

	(193 人)
認定者数	71 人 (49 人)
合格率	39% (25%)

- (2) 日本語教育のみならず、日本の文化や風習、日本人の考え方を理解することも重要視し、同学苑内の山野美容芸術短期大学、山野美容専門学校、山野医療専門学校と積極的に交流を行った。

山野美容専門学校、山野医療専門学校とは合同の学苑祭を行い、直接日本人との共同の作業を行うことで日本人に対する理解を深めた。

- (3) 学生募集においては、昨年同様、非漢字圏の学生を減らし、中国人学生を増やしたことで、中国人学生の比率は 77% となった。

中国人学生が増加したことの良い面として、大学院、大学への進学率及び日本語能力試験の合格率の上昇がみられたが、反面、昨年からの懸案事項であった学生募集におけるリスク分散をすることができなかった。

## 2 学校の概要

### (1) 設置コース

コース名	入学時期	定員
大学進学準備教育 1 年コース	4 月	100 名
大学進学準備教育 1 年半コース	10 月	110 名
日本語一般 1 年コース	4 月	100 名

### (2) 教職員数

	専任	増減	非常勤	増減
教員	7 人	▲1	26 人	2 人
職員	3 人	0	1 人	▲1 人

### (3) 生徒数（下段は昨年）

コース名	生徒数	定員充足率
大学進学準備教育 1 年コース	122 人 (112 人)	122% (112%)
大学進学準備教育 1 年半コース	254 人 (229 人)	231% (208%)
日本語一般 1 年コース	11 人 (12 人)	11% (12%)
計	387 人	125%

	(353 人)	(114%)
--	---------	--------

(4) 生徒数（地域別、下段は昨年）

中国	ベトナム	フィリピン	ネパール	他	計
77%	11%	3%	3%	6%	100%
(65%)	(17%)	(1%)	(7%)	(6%)	

進学状況 （ ）カッコ内は昨年

大学院	大学	短期大学	専修学校
10 人 (4)	29 人 (25)	5 人 (9)	86 人 (83)

※ 主な進学先

大学院：一橋大学、東北大学、埼玉大学、千葉大学、国立音楽大学、多摩美術大学、芝浦工業大学、順天堂大学、東京国際大学

大 学：明治大学、東洋大学、日本大学、立命館大学、武蔵野美術大学、大阪教育大学、専修大学、駒沢女子大学、帝京大学、横浜美術大学、東京富士大学、麗澤大学、西武文理大学、亜細亜大学、北陸大学、日本経済大学、至誠館大学、足利工業大学、大阪成蹊大学